

農業体験 ～米作りを通して農業の大切さを学ぼう～

目 標

- ・米作りの体験を通して農業への興味・関心を深める。
- ・農業の大切さ、働くことの尊さを学ぶ。

育てたい力

- 進んで農業や物作りについて学び、自ら探究していく力。
- 働くことの尊さを学び、自分の将来へ生かそうとする力

主な学習活動（農園での体験：6時間、総合的な学習の時間・社会科・家庭科での授業：14時間）

田植え体験

（6月）

- ・農園に行き、米作りに関する情報について資料を基に教えてもらった後、実際に田植えの体験を行った。（3時間）
- ・田植え体験を振り返り、まとめた。（1時間）



米作りの授業

（7月）

- ・社会科の授業で米作りと農業について学んだ。（9時間）
《米作りのさかんな地域》《地形や気候との関係》
《農家の工夫や努力》《地域での協力体制》《稲作の課題》
《消費者に届くまで》《今後への展望》など

稲刈り・収穫体験

（10月）

- ・農園に行き、稲刈り体験と、ハロウィン用の大きなカボチャを収穫した。
- ・カボチャを教室に装飾した。（3時間）
- ・稲刈り体験を振り返り、まとめた。（1時間）



収穫した米で調理実習

（11月）

- ・収穫した米（ななつぼし）を農園からいただき家庭科で米を炊いて、みんなで試食した。（3時間）



取組を終えて

子どもの声（感想）

子どもからは「米作りの大切さや楽しさが、実際に自分でやってみて分かった。」「農家の方のたくさんの苦労があって、私たちは安心しておいしく食べることができていることが分かった。」「またやってみたい。とても楽しかった。」などの感想が寄せられた。



取組の成果

実際に田植えや稲刈りを体験することは、子どもにとって実感を伴った活動になり学びとなった。食材が食卓に届くまでには、たくさんの人々の努力や工夫がなされていることをより深く知ることができた。収穫した米を自分たちで調理をして食べたことは、食料の大切さや感謝の気持ちを養っていく上でたいへん有効であった。

体験先、関係機関

島田農園（恵庭市）